

## 会員研修・ビジネス委員会 基本方針（案）

会員研修・ビジネス委員会 委員長 松尾 陽介

1 昨年からの新型コロナウイルス感染症の拡大は、一般社団法人佐賀青年会議所の活動のみならず、各会員の仕事や生活にも様々な影響を及ぼしています。ニューノーマルといわれる生活様式の変化は、テレワーク、新しいデジタルツール等の活用を急速に発展させました。このような社会情勢の中、佐賀青年会議所は人財の確保のみならず、会員の資質向上を目指し、他団体と協働し、時代の変化に合わせた事業の形を創り出す必要があります。

6 まずは、仮会員の方が新たな門出にあたり佐賀青年会議所の門戸を快くひらくために、  
7 会員研修・ビジネス委員会が窓口となり仮会員の不安や疑問を取り除くことで、安心して  
8 正会員へなってもらえる環境を提供します。そして、仮会員の参加意欲や絆を高めるため  
9 に、研修においてコミュニケーションの場を設けることで、会員同士の繋がりづくりをサ  
10 ポートし、正会員後も積極的に活動に参加できる環境づくりを行います。さらに、多くの  
11 入会3年未満の正会員にも社会情勢に対応できる能力を養うため、デジタルツールを各々  
12 のビジネスに活用してもらえるために、時代の変化に則したセミナーや講演を行うことで、  
13 活動意識の向上に繋げ、資質向上を促します。また、新型コロナウイルス感染症の影響下  
14 においても、地域活動を継続し佐賀を盛り上げていくために、時代に則したデジタルツー  
15 ル等を活用し自分たちの事業でも活用する事で、他団体や他企業に積極的に関わる事を模  
16 索し新たな地域づくりを提案します。

17 大きな転換期を迎えた今、佐賀青年会議所だからこそできる挑戦と魅力を高めるには、  
18 時代に合わせた人財づくりを行うとともに、地域振興の取り組みを継続し、現在（いま）  
19 を生き抜き次代へつないで参ります。

20

21

### 22 [事業計画]

- 23 1. 新入会員並びに会員研修の企画・運営（通年）
- 24 2. ビジネス事業の企画・運営（7月）
- 25 3. 厄入厄払の企画・運営（1月）
- 26 4. 例会の企画・運営（4月、11月）
- 27 5. シニア交流事業の企画・運営（6月）
- 28 6. サマーコンファレンス参加者への支援（7月）
- 29 7. 会員拡大 拡大目標 委員会5名（通年）